

## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月28日

上場会社名 株式会社遠藤製作所  
 コード番号 7841 URL <http://www.endo-mfg.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 小林 健治  
 (氏名) 佐藤 俊明

上場取引所 大  
 TEL 0256-63-6111

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	12,945	45.8	858	—	707	—	485	—
22年3月期第3四半期	8,877	△37.6	△143	—	△116	—	△688	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	53.45	—
22年3月期第3四半期	△75.79	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	18,625	11,274	60.5	1,241.73
22年3月期	17,783	10,921	61.4	1,202.84

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 11,274百万円 22年3月期 10,921百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,144	20.8	1,291	231.8	1,143	150.6	900	—	99.12

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期3Q	9,441,800株	22年3月期	9,441,800株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	362,378株	22年3月期	362,300株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期3Q	9,079,487株	22年3月期3Q	9,079,500株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「1.(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(第3四半期連結累計期間) .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジアの新興国を中心とした経済の改善や国内の企業収益の持ち直しの動きにより、一部で緩やかな景気回復の兆しが見られたものの、失業率が高水準にあり所得環境も改善しない中、円高の進行やデフレ傾向が続く等、依然と厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、前連結会計年度において主力のゴルフ事業で製造コストの低減、生産の効率化及びリードタイムの短縮等を図るため、アイアンヘッドの鍛造・金型工程をタイ国の在外子会社へ移管する等、より競争力ある差別化製品の供給に鋭意取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高129億45百万円（前年同期比45.8%増）となりました。利益面につきましては、売上高が増加したこと並びに製造工程移管効果等から、営業利益8億58百万円（前年同期は1億43百万円の営業損失）、経常利益7億7百万円（前年同期は1億16百万円の経常損失）、四半期純利益4億85百万円（前年同期は6億88百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (ゴルフ事業)

ゴルフ事業につきましては、国内の若手プロゴルファーの活躍でゴルフ人気が高まり、シニア層を中心にゴルフ人口の増加から、ゴルフクラブ市場の若干の回復傾向により、売上高は80億18百万円（前年同期比43.3%増）、営業利益4億26百万円（同685.5%増）となりました。

#### (ステンレス事業)

ステンレス事業につきましては、ステンレス製極薄管（メタルスリーブ）の受注がほぼ横ばいから、売上高は8億68百万円（同1.1%増）、営業利益1億87百万円（前年同期は0百万円の営業損失）となりました。

#### (自動車等鍛造部品事業)

自動車等鍛造部品事業につきましては、エコカー人気もあり自動車産業全体の需要が順調に回復していること等から、売上高は40億58百万円（前年同期比67.4%増）となりました。営業利益は、売上高が増加したことにより6億70百万円（同268.6%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、186億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億42百万円増加いたしました。

流動資産は、105億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億32百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したこと等によるものであります。固定資産は、80億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円増加いたしました。この主な要因は、土地の増加等によるものであります。

負債合計は、73億51百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億89百万円増加いたしました。

流動負債は、44億50百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億74百万円増加いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が増加したこと等によるものであります。固定負債は、29億円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円増加いたしました。この主な要因は、資産除去債務の計上等によるものであります。

純資産合計は、112億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億53百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、19億62百万円（前年同期比41.5%増）の収入となりました。これは主に、減価償却費8億30百万円、仕入債務の増加5億65百万円、税金等調整前四半期純利益6億61百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、7億38百万円（同28.6%増）の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6億43百万円、定期預金の増加1億12百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、7億15百万円（同82.1%増）の支出となりました。これは主に、短期借入金の減少や長期借入金の返済による支出、配当金の支払等によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は22億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億54百万円増加いたしました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、概ね当初計画のとおり推移しておりますので、平成22年5月14日付で公表いたしました業績予想数値に変更はありません。また、今後の動向を踏まえ、修正が必要と判断された場合には速やかに公表いたします。

なお、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって記載の業績数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算出方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

#### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益は、それぞれ1百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は、42百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は55百万円であります。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,132,484	2,530,424
受取手形及び売掛金	4,440,719	4,043,627
有価証券	—	35,405
商品及び製品	508,250	554,290
仕掛品	566,543	612,568
原材料及び貯蔵品	1,587,971	1,615,294
繰延税金資産	12,903	13,856
その他	350,629	359,293
貸倒引当金	△29,036	△27,185
流動資産合計	10,570,467	9,737,576
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,991,337	2,974,830
機械装置及び運搬具（純額）	2,415,930	2,406,716
工具、器具及び備品（純額）	155,654	169,473
土地	1,677,812	1,614,680
建設仮勘定	128,845	165,025
有形固定資産合計	7,369,580	7,330,727
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	62,281	77,399
繰延税金資産	6,758	4,231
投資不動産（純額）	345,524	347,759
その他	252,113	264,050
貸倒引当金	△13,790	△13,831
投資その他の資産合計	652,888	679,609
固定資産合計	8,054,764	8,045,441
資産合計	18,625,231	17,783,018

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,941,699	1,311,020
短期借入金	1,164,934	1,722,000
未払法人税等	90,415	99,871
未払金及び未払費用	712,028	660,293
賞与引当金	247,498	96,575
その他	294,035	86,122
流動負債合計	4,450,610	3,975,883
固定負債		
長期借入金	1,798,878	2,266,562
繰延税金負債	72,743	70,512
退職給付引当金	207,253	176,775
役員退職慰労引当金	206,414	203,107
資産除去債務	56,458	—
その他	558,644	169,030
固定負債合計	2,900,392	2,885,987
負債合計	7,351,003	6,861,871
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,241,788	1,241,788
資本剰余金	1,183,816	1,183,816
利益剰余金	9,704,995	9,310,478
自己株式	△192,327	△192,297
株主資本合計	11,938,272	11,543,785
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△30,266	△14,795
為替換算調整勘定	△633,777	△607,842
評価・換算差額等合計	△664,043	△622,638
純資産合計	11,274,228	10,921,147
負債純資産合計	18,625,231	17,783,018

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	8,877,513	12,945,929
売上原価	7,857,295	10,682,970
売上総利益	1,020,218	2,262,958
販売費及び一般管理費	1,163,891	1,404,398
営業利益又は営業損失(△)	△143,672	858,559
営業外収益		
受取利息	3,820	4,058
受取配当金	1,641	1,631
投資不動産賃貸料	15,643	13,470
為替差益	119,306	—
その他	42,719	23,668
営業外収益合計	183,129	42,828
営業外費用		
支払利息	86,641	81,890
減価償却費	41,906	28,544
シンジケートローン手数料	11,990	10,586
為替差損	—	64,150
その他	15,707	9,027
営業外費用合計	156,245	194,199
経常利益又は経常損失(△)	△116,788	707,188
特別利益		
固定資産売却益	25,047	17,291
貸倒引当金戻入額	5,168	593
特別利益合計	30,215	17,885
特別損失		
固定資産売却損	14,300	4,083
固定資産除却損	7,270	18,635
事業再編損	452,970	—
保険解約損	11,795	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	41,049
特別損失合計	486,336	63,769
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△572,909	661,304
法人税、住民税及び事業税	89,970	175,352
法人税等調整額	25,224	639
法人税等合計	115,194	175,991
少数株主損益調整前四半期純利益	—	485,312
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△688,104	485,312



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△572,909	661,304
減価償却費	896,672	830,571
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	41,049
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,168	1,810
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,000	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	40,863	150,922
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△393,858	3,307
受取利息及び受取配当金	△5,461	△5,689
支払利息	86,641	81,890
為替差損益(△は益)	31,124	56,922
有形固定資産売却損益(△は益)	△10,747	△13,207
有形固定資産除却損	7,270	18,635
事業再編損失	452,970	—
保険解約損益(△は益)	11,795	—
売上債権の増減額(△は増加)	383,802	△397,965
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,057,249	117,096
仕入債務の増減額(△は減少)	△426,363	565,418
未収消費税等の増減額(△は増加)	119,646	△7,938
その他	504,098	17,747
小計	2,164,626	2,121,878
利息及び配当金の受取額	6,298	5,794
利息の支払額	△78,360	△81,950
事業再編による支出	△453,569	△1,192
法人税等の支払額	△251,975	△184,061
法人税等の還付額	—	102,256
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,387,019	1,962,726
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	233,228	△112,574
有形固定資産の取得による支出	△968,764	△643,196
有形固定資産の売却による収入	39,843	29,802
無形固定資産の取得による支出	△4,774	△9,865
投資不動産の売却による収入	65,000	—
投資有価証券の取得による支出	—	△1,221
その他	61,045	△1,787
投資活動によるキャッシュ・フロー	△574,422	△738,841

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△750,700	△540,000
長期借入れによる収入	986,400	—
長期借入金の返済による支出	△506,706	△485,603
リース債務の返済による支出	△31,041	△43,491
セール・アンド・リースバックによる収入	—	444,648
自己株式の取得による支出	—	△30
配当金の支払額	△90,795	△90,795
財務活動によるキャッシュ・フロー	△392,843	△715,271
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,054	△54,531
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	410,699	454,080
現金及び現金同等物の期首残高	1,962,851	1,805,407
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,373,550	2,259,488

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	ゴルフ事業 (千円)	ステンレス 事業 (千円)	自動車等鍛 造部品事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	5,594,664	859,135	2,423,714	8,877,513	—	8,877,513
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6,347	—	—	6,347	(6,347)	—
計	5,601,011	859,135	2,423,714	8,883,861	(6,347)	8,877,513
営業利益又は営業損失(△)	54,276	△523	182,004	235,757	(379,430)	△143,672

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
ゴルフ事業	アイアンヘッド・アイアンクラブ、 メタルウッドヘッド・メタルウッドクラブ等
ステンレス事業	ステンレス製極薄管(メタルスリーブ)
自動車等鍛造部品事業	自動車鍛造部品、自動二輪鍛造部品等

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	日本 (千円)	タイ・ベトナム (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	6,452,756	2,424,757	8,877,513	—	8,877,513
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	334,697	5,414,627	5,749,325	(5,749,325)	—
計	6,787,454	7,839,384	14,626,839	(5,749,325)	8,877,513
営業利益又は営業損失(△)	44,593	168,074	212,668	(356,340)	△143,672

(注) 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高（千円）	3,436,192	1,316,469	216,838	4,969,500
II 連結売上高（千円）	—	—	—	8,877,513
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	38.7	14.8	2.5	56.0

- （注）1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。  
 2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。  
 (1) アジア……………タイ、中国、ベトナム他  
 (2) 北米……………米国、カナダ  
 (3) その他の地域……オランダ、英国、オーストラリア他  
 3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域に対する売上高であります。

〔セグメント情報〕

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別の事業部を置き、各事業部は、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「ゴルフ事業」、「ステンレス事業」及び「自動車等鍛造部品事業」の3つを報告セグメントとしております。

「ゴルフ事業」はゴルフヘッド及びゴルフクラブを生産しております。「ステンレス事業」は、ステンレス製極薄管（メタルスリーブ）を生産しております。「自動車等鍛造部品事業」は、自動車鍛造部品、自動車二輪鍛造部品及び農作業車両鍛造部品を生産しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ゴルフ事業	ステンレス 事業	自動車等鍛 造部品事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	8,018,803	868,864	4,058,261	12,945,929	—	12,945,929
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	7,343	—	—	7,343	△7,343	—
計	8,026,146	868,864	4,058,261	12,953,272	△7,343	12,945,929
セグメント利益	426,349	187,611	670,814	1,284,776	△426,216	858,559

- （注）1. セグメント利益の調整額△426,216千円には、セグメント間取引の消去△7,343千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△418,872千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。  
 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年12月31日）

該当事項はありません。

（追加情報）

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。